

経営状況の概要（令和4年度）

1 団体の概要

団体名	一般社団法人 郡山市観光協会		設立年月日	平成29年4月3日	
所在地	郡山市燧田195 JR郡山駅2階		設立根拠	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第1条	
電話番号	024-954-8922	FAX番号	024-954-8923	所管部課	産業観光部観光課
主な事業内容	国内外への観光宣伝及び観光誘客、観光情報の収集及び発信、観光振興に関する調査及び研究、観光コンテンツの開発及び商品化 等				
webアドレス	https://www.kanko-koriyama.gr.jp/				

2 財務状況・財務分析（単位：千円）

資本金（基本金）等	0 千円	市出資（出捐）金	0 千円	出資比率	0 %
-----------	------	----------	------	------	-----

貸借対照表	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比	増減理由
	総資産	23,825	18,809	11,970	▲ 6,839	コロナ補助金減少に伴う流動資産の減少
流動資産	23,825	18,809	11,970	▲ 6,839	コロナ補助金減少に伴う現金預金の減少	
固定資産	0	0	0	0		
負債	17,115	11,866	3,042	▲ 8,824	運営費補助金の減少に伴う流動負債の減少	
流動負債	17,115	11,866	3,042	▲ 8,824	運営費補助金の減少に伴う未払金の減少	
固定負債	0	0	0	0		
資本	6,710	6,944	8,928	1,984	正味財産（貯蔵品）の増加	
累積欠損額	0	0	0	0		
損益計算書	a 経常収益	111,898	108,496	57,657	▲ 50,839	コロナ補助金の減少
	b 経常費用	111,971	108,190	55,601	▲ 52,589	補助金事業（会議会合、宿泊補助）の減少
	c 経常収支差益（a-b）	▲ 73	306	2,056	1,750	減免措置終了に伴う会費収入等の増加
	d 経常外収益	0	0	0	0	
	e 経常外費用	0	0	0	0	
	f 経常外収支差益（d-e）	0	0	0	0	
	g 特別収益	0	0	0	0	
	h 特別損失	0	0	0	0	
	i 特別収支差益（g-h）	0	0	0	0	
	j 税引前当期純利益（c+f+i）	▲ 73	306	2,056	1,750	減免措置終了に伴う会費収入等の増加
	k 法人税等	72	72	72	0	
	l 当期純利益（j-k）	▲ 145	234	1,984	1,750	減免措置終了に伴う会費収入等の増加
	m ※ 総収入（a+d+g）	111,898	108,496	57,657	▲ 50,839	コロナ補助金減少に伴うの減少

3 役職員の状況（令和4年度） ※ 職員＝正規職員のみ記載

役員数	17 人	（うち市派遣）	0 人	（うち市退職者）	3 人
職員数	3 人	（うち市派遣）	2 人	（うち市退職者）	0 人
常勤役員平均報酬	368 千円	非常勤役員平均報酬	0 千円	職員平均年収	6,964 千円
役員平均年齢	64.7 歳	職員平均年齢	44.3 歳	人件費（R4）	22,121 千円
市退職者の役員就任割合	17.6% %		※参考	人件費（R3）	20,527 千円

4 団体への市関与の状況

(1) 市の支出

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比	増減理由
補助金（助成）	96,240	93,523	49,660	▲ 43,863	
①運営費補助	30,282	29,917	49,660	19,743	観光案内所業務が自主事業化し、運営補助金へ移行
②事業費補助	65,958	63,606	0	▲ 63,606	コロナ禍での補助事業がR3年度で終了
③その他補助	0	0	0	0	
利子補給金	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
損失補償契約に伴う金利軽減額	0	0	0	0	
出資金、低利貸付等に伴う機会費用	0	0	0	0	
合計	96,240	93,523	49,660	▲ 43,863	観光案内所業務の自主事業化と補助事業の減少
委託料（指定管理料を除く）	9,845	9,999	0	▲ 9,999	観光案内所業務が自主事業化し、運営補助金へ移行（委託料がゼロへ）
うち随意契約	9,845	9,999	0	▲ 9,999	
指定管理料	0	0	0	0	

市からの委託業務の詳細（指定管理業務を除く）

--

(2) その他

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年度比	増減理由
損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	0	
（将来負担額）	0	0	0	0	
（将来負担算入率）	0	0	0	0	
貸付金残高	0	0	0	0	
出資金	0	0	0	0	
出捐金	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	

5 監査等の結果

監査等種類	定時総会内部監査		
実施時期	R5.5.18		
指摘・意見	指摘・意見なし		
対応状況			

6 経営に関する指標 単位：%

法人の自立性	令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和10年度	令和15年度	計算式
市からの収入割合	95.4	86.1	82.3	82.3	82.3	市からの委託料・補助金・指定管理料/総収入
市との随意契約比率	100.0	0.0	50	50	50	随意契約金額/委託料
外部委託率	0.0	0.0	50	50	50	外部委託額等/随意契約金額
組織運営の効率性	令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和10年度	令和15年度	計算式
販売・管理費比率	9.8	15.0	15.5	15.5	15.5	販売・管理費/総収入
財務の健全性	令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和10年度	令和15年度	計算式
経常比率	100.3	103.7	105.9	105.9	105.9	経常収益/経常費用
自己資本比率	36.9	74.6	47.9	47.9	47.9	資本/総資産
流動比率	158.5	393.5	191.8	191.8	191.8	流動資産/流動負債
固定比率	0.0	0.0	0	0	0	固定資産/資本
人件費率	19.0	39.8	37	37	37	人件費/経常費用
利益率	0.3	3.6	5.5	5.5	5.5	経常収支差益/経常収益
売上高当期純利益率	0.2	3.4	5.5	5.5	5.5	当期純利益/経常収益
借入金依存度	0.0	0.0	0	0	0	借入金+社債/総資産
余剰金(欠損金)	6,944	8,928	0	0	0	資本-基本金・資本金
指定管理依存度	0.0	0.0	0	0	0	指定管理料/総収入

7 経営分析、評価及び将来展望について（2～6の分析）

	現在（分析・自己評価）	将来展望・中長期的ビジョン
法人の自立性	国・県等の財源活用、会費の通常徴収化等により、市からの収入割合が減少	国・県等の財源活用、体験コンテンツの販売、旅行業免許取得によるツアー販売、郡山市観光物産振興協会との事業統合・相乗効果による事業収益の拡大など、継続的に自主財源確保に取り組む。
組織運営の効率性	令和3年度まで減免を行っていた会費徴収を通常に戻したが、新型コロナウイルス支援事業による補助金収入がなくなり、総収入が減少し、販売・管理費率が増加	上述のコンテンツ販売やR5年度の郡山市観光物産振興協会との事業統合を契機にした新たな商品販売等による収入確保を図るとともに、業務の最適化による経費削減に努める。
財務の健全性	令和4年度は会費徴収の開始をはじめ、通常化に向けてシフトしているが、令和3年度の新型コロナウイルス支援事業による補助金収入の額が大きかったため、数字上大きな推移が見られる。	新たなコンテンツ・商品の販売、新規会員の獲得及び広告等の収入、旅行業免許取得による補助金事業の獲得等により、事業収入を確保するとともに、利益率の回復を図り、財務の健全化を目指す。

8 その他取組状況及び特記事項【団体回答欄】

<ul style="list-style-type: none"> ・郡山市と共同運営する「観光案内所」について、令和3年度までは委託であったが、令和4年度から自主事業に切り替えた ・コロナの影響を鑑み、令和2年度は会費を100%減免、令和3年度は会費を50%減免（令和4年度から通常徴収） ・オリジナル商品として「御朱印帳」を制作・販売開始し、“御朱印めぐりマップ”と連動した周遊観光を促進 ・令和4年度に「一般酒類小売業免許」の取得、ベビーカーレンタルサービス「ベビカル」の導入、令和5年度中に旅行業免許（地域限定）の取得を行い、歳入増加に向けた環境整備に取り組む。
--

9 市の評価【事業評価】（指定管理業務を除く）

委託終了のため、評価なし

10 市の評価【財務・経営状況評価（団体の経営分析を踏まえたもの）】

<p>市の新型コロナウイルス対策支援事業の終了に伴い、事業の運営主体であった当協会の収入支出ともに減少しており、さらには、会費収入の減免措置を終了したため、各指標が通常化に移行している。観光案内所においては、令和4年度から市との共同運営に変更し、3月末にリニューアルオープンしたところであり、今後においても、「郡山観光の顔」として責任を持った運営を図られたい。近年の市と協働して国県の観光補助金を活用した新たな事業の推進については、評価できる。今後においても、旅行業の取得、造成したツアー等の販売による財源確保を目指し、DMOとして地域事業者との連携を図りながら事業の推進を図られたい。</p>
